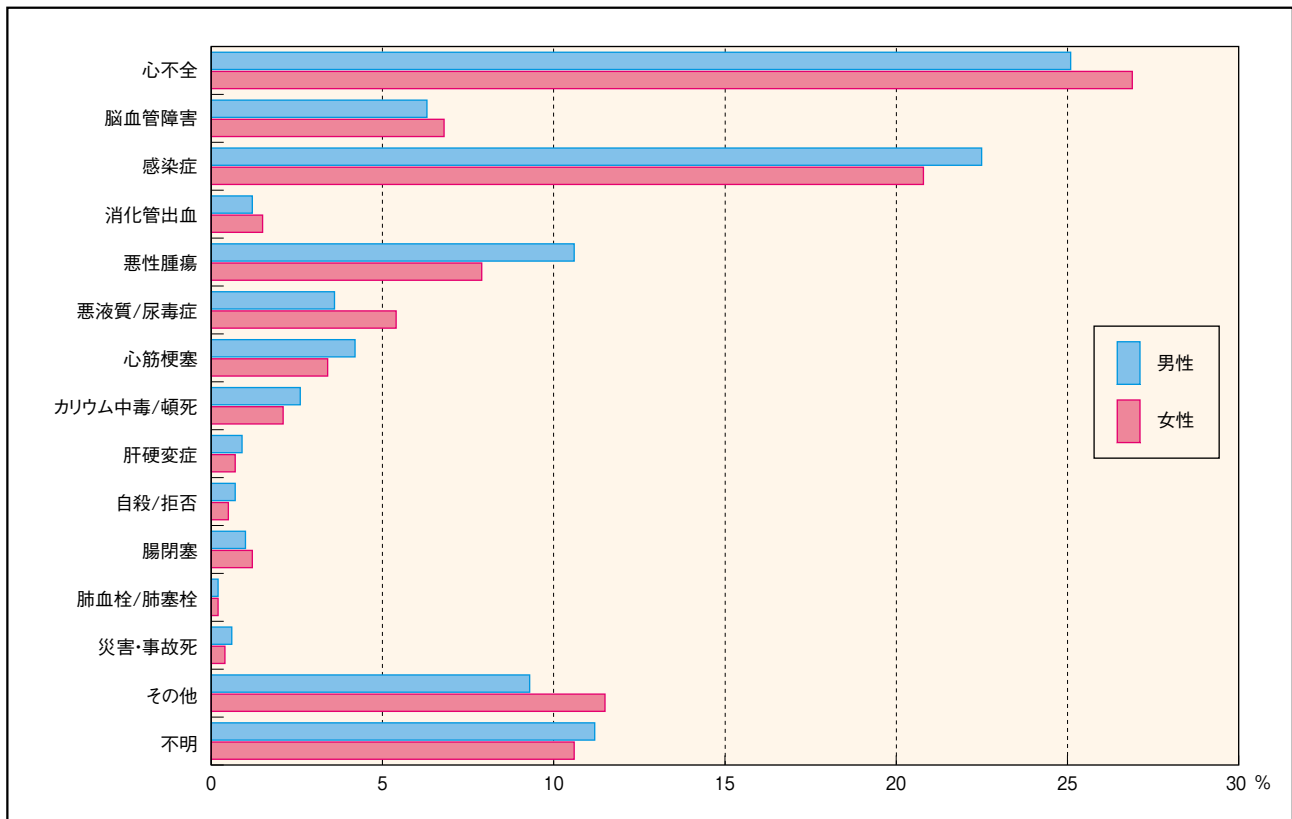


# 1) 慢性透析療法の現況

(12) 2016年死亡患者の死亡原因 (図表12)



死因	男性	女性	合計	記載なし	総計	死因	男性	女性	合計	記載なし	総計
心不全 (%)	5,076 (25.1)	2,811 (26.9)	7,887 (25.7)	0	7,887 (25.7)	自殺/拒否 (%)	142 (0.7)	57 (0.5)	199 (0.6)	0	199 (0.6)
脳血管障害 (%)	1,270 (6.3)	709 (6.8)	1,979 (6.5)	0	1,979 (6.5)	腸閉塞 (%)	206 (1.0)	124 (1.2)	330 (1.1)	0	330 (1.1)
感染症 (%)	4,552 (22.5)	2,173 (20.8)	6,725 (21.9)	0	6,725 (21.9)	肺血栓/肺塞栓 (%)	35 (0.2)	25 (0.2)	60 (0.2)	0	60 (0.2)
消化管出血 (%)	240 (1.2)	155 (1.5)	395 (1.3)	0	395 (1.3)	災害・事故死 (%)	117 (0.6)	45 (0.4)	162 (0.5)	0	162 (0.5)
悪性腫瘍 (%)	2,141 (10.6)	826 (7.9)	2,967 (9.7)	0	2,967 (9.7)	その他 (%)	1,881 (9.3)	1,197 (11.5)	3,078 (10.0)	0	3,078 (10.0)
悪液質/尿毒症 (%)	719 (3.6)	560 (5.4)	1,279 (4.2)	0	1,279 (4.2)	不明 (%)	2,267 (11.2)	1,108 (10.6)	3,375 (11.0)	0	3,375 (11.0)
心筋梗塞 (%)	853 (4.2)	357 (3.4)	1,210 (3.9)	0	1,210 (3.9)	合計 (%)	20,198 (100.0)	10,440 (100.0)	30,638 (100.0)	0	30,638 (100.0)
カリウム中毒/頓死 (%)	520 (2.6)	222 (2.1)	742 (2.4)	0	742 (2.4)	記載なし	1	1	2	0	2
肝硬変症 (%)	179 (0.9)	71 (0.7)	250 (0.8)	0	250 (0.8)	総計	20,199	10,441	30,640	0	30,640

患者調査による集計

## 解説

2016年の施設調査票では、31,790人の死亡が報告されていたが、患者調査票において死亡原因と性別が記載された患者数は30,638人で、31,790人の96.4%に相当する。男性の死因では多い順から心不全 (25.1%)、感染症 (22.5%)、悪性腫瘍 (10.6%)、脳血管障害 (6.3%) であった。女性も同様に心不全 (26.9%)、感染症 (20.8%)、悪性腫瘍 (7.9%)、脳血管障害 (6.8%) の順であった。2015年と違い、女性患者において悪性腫瘍と脳血管障害の順位が逆転した。患者全体でみると、心不全 (25.7%)、感染症 (21.9%)、悪性腫瘍 (9.7%)、脳血管障害 (6.5%) であった。心不全、脳血管障害、心筋梗塞を併せた心血管疾患の割合は、男性では35.6%、女性では37.1%、全体で36.2%であった。